

丁丑劫餘印存



丁丑劫餘印存小傳

卷四

董洵字企泉號小池山陰人官通判有小池詩鈔董氏印式  
項朝蘖字壽芝號秋鶴仁和人乾隆己酉舉人

馮洽字伯虞號秋鶴嘉興人諸生

朱勇均字粹也號灌園叟桐鄉人有愛古樓印譜

張燕昌字芑堂號文漁又號金粟山人海鹽人有金石契飛白書  
錄鴛鴦湖權歌石鼓文釋存芑堂印譜嘉慶甲戌卒年七十七

汪啟淑字慎儀號秀峯又號詔庵自稱印癖先生歙縣人僑寓杭  
州官兵部郎中有集古印存飛鴻堂印譜漢銅印叢漢銅印原  
退齋印類錦囊印林等二十七種續印人傳

徐寶璵字崑臺嘉興人

桂馥字未谷號老沔又號瀆井復民曲阜人乾隆庚戌進士官知  
縣有繆篆分韻續三十五舉嘉慶乙丑卒年七十



顧溥字子將錢塘人

黃呂字次黃號鳳六山人歙縣人

翟賞祖號懋齋涇縣人潢生子

丁佺字致堯號松老又號鈍丁後人敬三子

奚岡初名鋼字純章後字鐵生號蘿龕別署鶴渚生蒙泉外史蒙

道士散木居士錢塘人有冬花盒燼餘稿嘉慶癸亥卒年五十

八

孫星衍字伯淵一字季逵號淵如陽湖人乾隆丁未榜眼官山東

糧道有平津館讀碑記寰宇訪碑錄續古文苑嘉慶戊寅卒年

六十六

陳渭字桐野號首亭平湖人

陳元祚字師李號西麓嘉興人有西麓印譜

吳履字竹虛號瓦山野老又字公之坦秀水人有苦楸庵詩

趙丙棫字芄若一字仰才號養拙居士山陰人





小卷工繪事之善亦刻極日嘗  
送余剛日法固中少為贈仿丁  
錢六式也名其四平秋七月池  
畫印上記性年六十

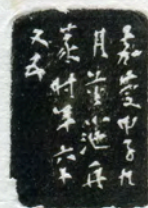
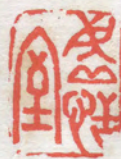






泰印朱友有  
拙心者拾遺  
先生曰愛之  
小池因俗以  
時刻字於  
重慶前一日  
而後并記于  
印者









鈇，先生有西湖神和印  
別號五無符仿其意刻  
此識者皆之也其口  
并記于鄂清癸卯九月

仰潭山館袁君全  
元翁因裝此鈇以  
留卧西三書牕後





女相收藏書畫家畫成林有台家于京之  
 風致為作此印宛陸西平島平日須知宜記

頤三世印...  
 無不...  
 凡...  
 三...

既...  
 世...  
 乾...

秋...  
 奇...  
 小...  
 唐...





琴和九月十日... 况况小过作  
 指例... 不过... 遂... 为...  
 诗... 与... 山... 湖... 三... 竹... 及... 方... 外...  
 海... 结... 湖... 之... 与... 山... 湖... 三... 竹... 及... 方... 外...  
 其... 数... 本... 以... 在... 各... 以... 兼... 亦... 曾...  
 台... 之... 雅... 自... 皆... 然... 心... 今... 年... 信... 寓... 城... 东...  
 秋... 菊... 山... 子... 与... 过... 富... 通... 寂... 得... 素... 心... 人...  
 初... 与... 数... 晨... 夕... 回... 刻... 此... 印... 以... 赠... 小... 过...  
 曾... 作... 诗... 能... 之... 其... 味... 酒... 过... 花... 下...  
 感... 怀... 宿... 而... 各... 山... 以... 把... 玩... 焉... 可... 也...  
 白... 子... 久... 为... 奚... 元... 郎... 作... 雲... 林... 崇... 嵩... 今...  
 秋... 雀... 為... 小... 过... 作... 蕭... 閣... 館... 印... 可... 稱... 兩...  
 絕... 余... 暇... 事... 用... 銘... 將... 兼... 數... 語... 亦... 佳...  
 結... 也... 三... 竹... 跋...





先君子撫楚南時署之  
東偏有園曰又一村余嘗  
奮進在于其中後遂  
以雀自號不忘其物取  
忘其地乎故家治





灌園作於淨心  
齋中

牧笛樵歌發於天籟  
灌園先生以滿瀛之筆傳  
之其天機所至乎乙酉冬日  
芭堂





丁丑劫餘印存

卷四

九浙西四家所藏





亞形始見于薛尚功鐘鼎款識  
 亞形入印自宋人始元明以來士  
 大夫多鍾為之此為  
 東谷先生制未始有合于其  
 者之意乎於三五夏曰燕昌志

初月日余歸自濟寧  
 筆別陸君同舟旋蒙同契  
 甚因出石屑謝承心諾之而未  
 以應也望日度江亭風曰清美  
 對家人金浮玉小塔雲鼓刀時世  
 無坡仙誰復識滕元夜其人  
 邪張鑾日記書

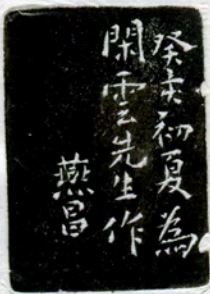
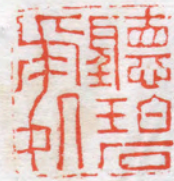




戊辰寒露  
芭堂作時  
年七十二

亦傳大兄取南核白  
筆之義別號南白  
其孝子之托言于  
為仿漢人白父刻印  
以贈時坐石堂嘉穀  
之廬燕昌記









甲子初夏為  
亦昭大兄作於娛老書  
樂 燕昌

辛酉冬日芭堂作

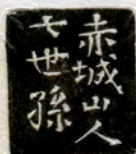
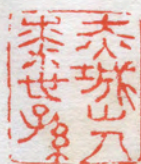




顏姑著意画難真  
 掬底何曾妙入神  
 色相兩忘閑裏取胡  
 狀  
 綽約見仙人甲子初  
 冬  
 石牕大兄属燕昌刻  
 時季六十七

乙丑夏日為  
 嚴學兄心畫





壬申八月廿又二日秋光  
可人一試考眼為  
石窗詩人作燕昌時

年七十五  
七作來見太元經及  
天後神藏諸碑蓋  
用洪氏隸續仿古用茶  
豈不韻勝也  
又志





芒平作

穰園年四十已得二  
孫因自稱老人石帆  
作評以贈屬余刻  
印蓋擬之陶元亮之  
自稱五柳先生陸  
望之自稱甫里先生  
白牛天之自稱醉人  
先生云燕呂志

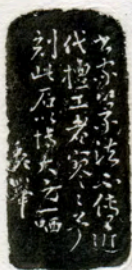




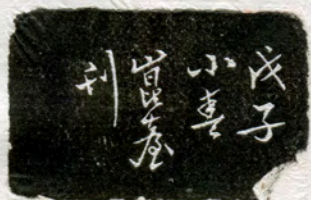








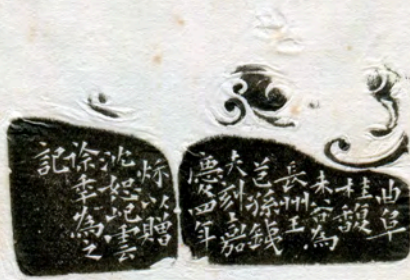




















頻年多病為  
 緣仄結習雕  
 蟲興未衰間  
 說水斯今再  
 見特携新硯  
 訪尋來去初  
 訪秀峯先生  
 時拙句也適  
 見扇刻以奉  
 因附刊其上  
 鳳六山人黃  
 呂篆



秀峰農冒著書等身又鑒藏  
 金石文字極富故鐫此貽之懋  
 齋翟賞祖拜手時已亥天  
 中節後二日也







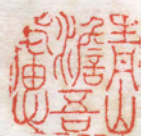
死後徐居顏所居堂曰  
 精齋蓋取杜甫詩是亦  
 謂之曰精齋有題江外州  
 堂詩云  
 曰同精齋詩其自道  
 則坡語對若其人生意  
 氣語史稱甫性放曠好  
 論大事挺然無所汙也  
 露出之謂矣居以居落  
 之才抄度以習便有取

乎是吾得仍移甫句以  
 居曰神傾意豁真在  
 士居以為何如  
 丁亥春紀南上完命  
 予蒙此石因以五丈  
 兼隱居題語并刻其  
 上庶使所見者有見見  
 吾六足之襟期也松  
 老漢丁倫記事

王幼餘印字  
 卷四

吳浙西四家所藏







丁丑訪塗印字

卷四



宣統三年八月廿六日

拜觀

秋日出

未印自

天浙西四家所藏





<p>真銅記 秋蘿龕外史 不計也庚寅 志工拙在所</p>	<p>印以贈炎果 不忘故土之 山房曰龍尾 與室曰龍尾</p>	<p>高居廣陵樓 碑大厥人也 過焉汪君雪 冷他山無或</p>	<p>石之壑水之 名著舌星源 唐采硯後其 龍尾山自南</p>
--	--	--	--





倪高士雲林有朱陽館  
主印此則寧其洽也如  
宦亭先生清鑒癸巳大  
秋前十日宦渚生真印

李印上元如蒙  
少白鍾文誦生





蘇素三兄屬書生製

蘇素三兄屬書生製

蘇素三兄屬書生製





重九前二日	忘所自也誤生回	以白栗為瑞蓋不	吾及小幸營其尊	青龍山一名白栗
-------	---------	---------	---------	---------

丙午五春撰一日雪窻為  
 山河尊又作 鍊生冥雷





伯璽印宜筆法不固神存  
亦古當以李翁張遺等碑  
參之戊申三月講生記

恒誨四兄生于貴州之遵義  
將軍南司空方守是郡嘗  
從按山園以名堂爲龍池十  
際諸石迄今三十有二年矣  
誨出以示余且將以自報余曰  
是亦不忘存生之意也遂利此  
以贈并贊之尊伯山舟先生以  
爲何如壬子九秋錢生記





又不知印林續慶開益(書后雙  
多宛轉錄以受禪諱洽歷後古  
人與根不相運定身時字實四月  
黃生記

說人毋識  
若府牙  
檢時之  
四貫通  
取其古致  
送水  
不須專  
大作且  
印時  
當道和  
鐵生記

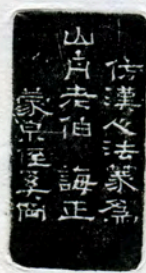
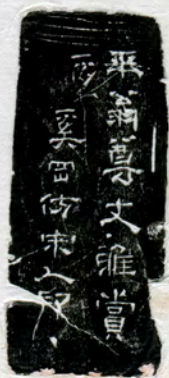
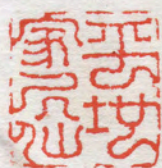




印刻一道近代推稱丁文純  
 丁先生獨絕其古勁茂美  
 處雖文何不能及也蓋先  
 生精于篆隸益以書法之故  
 且所作輒與古人有合焉  
 山山尊伯藏先生印甚夥  
 一日出以見示不覺為之神  
 歎因喜而仿此錢生記

讓生記

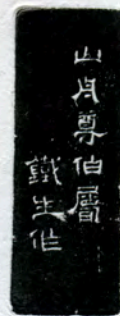






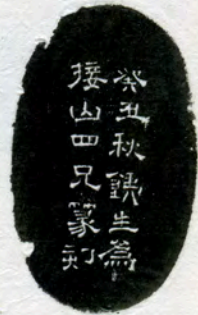
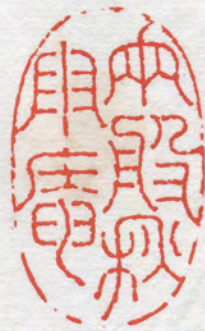
丁丑劫餘印等

卷四



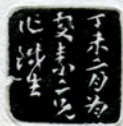
壬浙西四家所藏



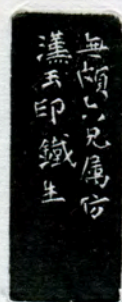


相公鳳翥經遊五家畫程  
 北堂儼言時此日瑞芝留手  
 澤鳳雛又見紀清池余題  
 梁文莊公吟梁老屋圖句  
 云看居鳳山其小曰鳳雛  
 今為公云行匠海見刻此即以  
 當鳳毛之頌餘生記











丁丑劫餘印等  
卷四



早浙西四家所藏



正五幼絲印符

卷四

望浙西四家所藏









正丑幼絲卯字

卷四



浙西四家所藏

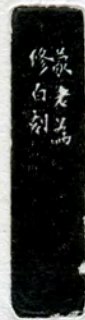




仿漢銅印為  
又與兄製印

仿漢銅印為  
訂唐兄製九

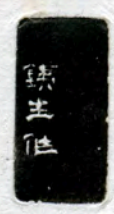








象文錄生自書四而篆  
刻亦與黃司馬小松角勝後  
筆墨繁生而篆刻時  
矣此印為劫餘年前所作  
春日用意絕似十龍湖先  
生尋雲孫兒不忍令其家  
沒屬余附名因記歲月  
于上時中子九月後五  
日秋末陳穉鍾





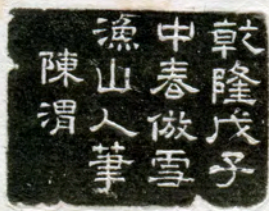
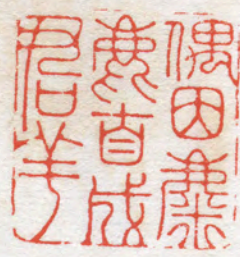
丁丑劫餘印存

卷四



吳淞西四家所藏







談興  
飛白  
酒  
平  
博  
紅

珠水陳渭篆  
於光霽艸堂

丁丑劫餘印字

卷四

平浙西四家所藏

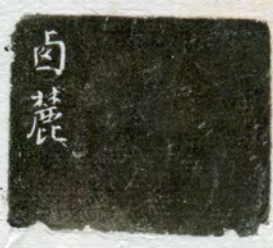






丁丑劫餘印符

卷四



至浙西四家所藏





歌兒佛喜  
尊賞識之故秋景  
會自有佛思若許

枯花笑金屋  
詩欲悲自辨曰

吳履刻印贈  
時乾隆壬子閏月

出也





范吳